

評価の観点

参考

面接テスト

項目	選考基準
資質	教員としての適性があるか。
	子どもへの教育的愛情があるか。
	教育への情熱があるか。
	明確な志望動機があるか。
	困難に立ち向かう姿勢、粘り強さがあるか。
	状況に応じた的確な判断力があるか。
表現力	話の説得力があるか。
	物事を的確に表現できているか。
	論理的思考ができているか。
	教員としての基礎的知識、専門性があるか。
	柔軟な発想ができているか。
社会性	協調性があるか。
	社交性があるか。
	明るさ、素直さがあるか。
その他	場に適した服装、身だしなみや立ち振る舞いができているか。
	適切な言葉づかいができているか。

実技テスト

※実技共通項目

項目	選考基準
態度	教員としてふさわしい、誠実な態度であるか。
	服装・身だしなみは整っているか。

《幼稚園・小学校共通、特別支援学校(幼稚部・小学部共通) 音楽》

テスト項目	選考基準
無伴奏による歌唱	曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌っているか。
	歌詞の内容や曲想を感じとり、曲にふさわしい表現を工夫して歌っているか。
	響きのある豊かな歌声で歌っているか。
ピアノ弾き歌い	曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌っているか。
	歌詞の内容や曲想を感じとり、曲にふさわしい表現を工夫して演奏できているか。
	保育において幼児が歌いやすい伴奏ができているか。
	響きのある豊かな歌声で歌っているか。

《小学校、特別支援学校(小学部) 音楽》

テスト項目	選考基準
無伴奏による歌唱	曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌っているか。
	歌詞の内容や曲想を感じとり、曲にふさわしい表現を工夫して歌っているか。
	響きのある豊かな歌声で歌っているか。
自由演奏	音楽表現をするための基礎的な技能を身につけ、演奏できているか。
	楽器の特徴を生かし、曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現できているか。
	曲想を感じとり、曲にふさわしい表現を工夫して演奏できているか。

《幼稚園・小学校共通、小学校、特別支援学校(幼稚部・小学部共通、小学部) 体育》

テスト項目	選考基準
水泳	水中からのスタートが力強く、スムーズに泳ぎにつながっているか。
	泳ぎのフォーム、バランスがよく、伸びのある大きな泳ぎができているか。
	手と足の動きに合わせた余裕のある呼吸ができているか。

《教科「保健体育」》

テスト項目	選考基準
第1群 体づくり運動	全体の構成がよく、多くの運動を取り入れているか。
	生徒への動きの指示が明確で、生徒をひきつけるような大きな声かけができているか。
	生徒に体を動かす楽しさを感じさせるような工夫がなされているか。
	動作が大きく、リズムにあった正確な動きができているか。
第2群 水泳	水中からのスタートが力強く、スムーズに泳ぎにつながっているか。
	泳ぎのフォーム、バランスがよく、伸びのある大きな泳ぎができているか。
	手と足の動きに合わせた余裕のある呼吸ができているか。
第3群	
バレーボール	(パス) 正確に構え、身体全体でボールを操作できているか。
	(パス) ボールコントロールが正確か。
	(レシーブ) すばやく移動し、正確な構えでレシーブができているか。
	(レシーブ) ボールコントロールが正確か。
	(スパイク) スムーズな助走から力強い踏み込みができているか。
	(スパイク) タイミングよくジャンプし、ボールを正しくとらえ力強いスパイクができているか。
サッカー	(ボールリフティング) ボールをコントロールし、身体の部位をバランスよく使えているか。
	(ドリブルシュート) リズムよく、スピード感があるなめらかなドリブルができているか。
	(ドリブルシュート) タイミングよく強いシュートが打っているか。
	(1対1) 相手の状況をよく見てドリブルができており、かつシュートを正確に蹴ることができるか。
バスケットボール	(個人技能) 個々の技術にスピードがあり、正確かつスムーズに連続して行うことができるか。
	(集団技能) 周囲の状況がよく見えており、状況判断が的確か。
	(集団技能) 積極的にプレーに参加できているか。
	(集団技能) プレーの内容が正確で、ミスがないか。
ハンドボール	(パス) 個々の技術にスピードがあり、正確かつスムーズに連続して行うことができるか。
	(シュート) 個々の技術にスピードと高さがあるか。
	(シュート) 正確にゴール四隅を狙ったシュートをスムーズにできているか。
	(フェイント) 個々の技術にスピードがあり、正確かつスムーズに連続して行うことができるか。
第4群	
器械運動(マット運動)	美しくダイナミックな演技ができているか。
	演技がスムーズで、安定感があるか。
陸上競技(ハードル走)	ハードリングの一連の動作がスムーズで、バランスがよいか。
	第1ハードルへのアプローチ、インターバルの走りが、リズムカルであるか。
	走りにスピード感があるか。
武道(柔道)	5項目(礼法、前方回転受身、固め技、打ち込み、約束練習)について十分理解しているか。
	技を安全に行うことができるか。
	技をスムーズかつ正確に行うことができるか。
武道(剣道)	氣勢は充実しているか。
	適正な姿勢(気、剣、体の一致)のもとで、打突の機会を正確にとらえているか。
	リズムよく大きな動作で、有効打となるに十分な打突ができているか。
ダンス(創作ダンス)	与えられたテーマから、自らが表現したイメージをとらえることができるか。
	動きに変化をつけて、即興的に表現することができるか。
	変化のあるひとまとまりの表現(はじめ-なか-おわり)ができているか。

《教科「音楽」》

テスト項目	選考基準
ピアノ弾き歌い	曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌っているか。
	歌詞の内容や曲想を感じとり、曲にふさわしい表現を工夫して演奏できているか。
	楽譜を正確によみ、指示どおりに正しく演奏することができているか。
	授業において生徒が歌いやすい伴奏ができているか。
	響きのある豊かな歌声で歌っているか。
自由演奏	音楽表現をするための基礎的な技能を身につけ、演奏できているか。
	楽器の特徴を生かし、曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現できているか。
	曲想を感じとり、曲にふさわしい表現を工夫して演奏できているか。

《教科「美術」》

テスト項目	選考基準
描写	出題された条件を踏まえ、バランス良く全体を構成することができているか。
	作品の画面構成に創意工夫が見られるか。
	対象物の質感を的確にとらえ、表現できているか。
	用具を活用して効果的に彩色し、表現することができているか。
立体	出題された条件を踏まえ、全体を構成することができているか。
	作品の構想に創意工夫が見られるか。
	出題された意図をとらえ、的確に表現した作品になっているか。
	用具を活用し、与えられた材料を有効に使って表現することができているか。

《教科「英語」》

テスト項目	選考基準
Reading	(文の区切り) 意味単位を対象にして、内容を理解した上で音読しているか。
	(発音・イントネーション) 母音・子音の発音、アクセントの位置、音変化、抑揚、文の強勢、リズム、声の大きさなどに注意して音読しているか。
Group discussion	(表現) 語彙、文法、構文を適切に使っているか、自然で流暢な話し方であるか。
	(内容) トピックに沿った論理的なまとまりがあり、説得力のある内容であるか。
	(態度) 相手の考えを尊重し、討論の流れに沿って、積極的に討論に参加しているか。

